

平成 30 年度

海外児童生徒教育相談活動報告書



公益財団法人 名古屋国際センター
広報情報課 海外児童生徒教育相談

I 海外児童生徒教育相談室活動内容

1 海外児童生徒教育相談室の目的

保護者の海外赴任に伴う子どもの出国・帰国に際し、子どもが現地で、あるいは帰国後、学校生活に円滑に適應できるよう、編入学、進学、外国語の保持などの相談や、海外及び日本での子どもの学習、生活面など学校生活全般にわたる相談に対応する。

また、外国人保護者の長期滞在・定住化に伴い、その子どもの生育環境が多様・複雑化する中、彼らの健全育成を支援するため、教育全般、特に進路についての相談にきめ細かく対応する。

2 相談内容

(1) 出国相談の主な内容

- ① 現地の教育事情、学校選びについて
- ② 学校関係の手続きと編入学の学年等について
- ③ 在学中の学習方法と生活のしかたについて
- ④ 一時帰国に伴う体験入学について

(2) 帰国相談の主な内容

- ① 帰国時期と編入・進学（高校入試、大学入試）について
- ② 日本の学校への編入学について
- ③ 適應教育について
- ④ 外国語の保持、伸長について
- ⑤ 外国の上級学校への進学について

(3) 外国人児童生徒相談の主な内容

- ① 出身国と日本の教育・教育制度の違いについて
- ② 日本の学校への編入学（小学・中学・高校・大学等）について
- ③ 日本語学校・日本語教室について
- ④ 高校入試、大学入試について
- ⑤ 中学夜間学級について

上記の内容の相談に、海外児童生徒教育相談員の専門員が個別に対応

- ・面接相談(要予約)：毎週水・金・日曜日 午前10:00～午後5:00
- ・電話やメール等の問合せ、情報提供にも応じる。

3 目標

海外への出国、帰国を伴う子どもが学校への入学や学校生活等において負担を負うことのないよう、教育関係機関等と連携しながら支援する。

また、外国籍の子どもの教育全般、特に進路について相談者のニーズや状況に合った様々な選択肢を提示することにより、きめ細やかな支援を行う。

4 その他の活動

(1) 情報収集活動

- ・ 海外子女教育専門相談員連絡会とのネットワークによる情報収集
- ・ 海外児童生徒教育振興財団との緊密なネットワークによる情報収集
- ・ 日本国際理解教育学会とのネットワークによる情報収集
- ・ 名古屋市初期日本語教育サポートセンターとの緊密な連携による情報収集

(2) 教育相談活動に関する調査、統計

- ・ 毎月の教育相談から、学校・学年別、在留期間別、在留国別、在留国での学校種別、相談者の居住地域別、年齢別、国籍別の相談件数を調査して統計資料を作成

(3) 海外児童生徒教育、外国人児童生徒教育に関する研究会に参加

- ・ 海外子女教育専門相談員連絡協議会（外務省、海外子女教育振興財団 主催）
- ・ 全国海外子女教育国際理解教育研究協議会
- ・ 東海ブロック海外子女教育国際理解教育研究協議会
- ・ 名古屋市帰国児童生徒教育研究協議会（名古屋市教育委員会 主催）
- ・ 多文化子どもサポート連絡会
- ・ 日本国際理解教育学会研究大会
- ・ 愛知県海外子女教育国際理解教育研究協議会
- ・ 名古屋市海外子女教育国際理解教育研究協議会

(4) 外国人の子どもと保護者のための進路ガイダンスの実施

外国人の子どもと保護者を対象に、中学校卒業後の進路について、日本の教育制度や学校情報等についての基本情報を提供

II 海外児童生徒教育相談室活動報告

平成 30 年度の教育相談件数は、出国相談が 50 件、帰国相談が 85 件、外国人相談が 145 件、その他の学校や企業等からの相談が 76 件、合計 356 件あった。一昨年度、昨年度と 2 年続けて相談件数がこれまでより大幅に増加してきたが、平成 30 年度は出国相談、帰国相談件数の減少し、相談件数の総数は昨年度に比べて減少した。しかし、外国人相談件数はここ 3 年間少しづつではあるが増加し続けている。

出国・帰国相談においては、日本人学校に進学を希望する児童生徒よりも、現地校や国際学校に進学を希望する者が多く、現地の学校の情報を入手するのに大変苦勞することが多い。また、海外赴任する親の年齢が下がってきており、帯同する子どもの年齢も低年齢化しているため、現地の幼稚園や保育園といった教育施設に関する相談が増えてきている。

外国人の国籍別相談件数を見ると、昨年、35 件と一番多かったフィリピンが 7 件と大幅に減少した。中国は 45 件と相変わらず多く、次いでブラジルの 12 件、ペルー 11 件、韓国 10 件と続いている。昨年、増加が目立ったのはネパールで、6 件の相談があり、7 位に上昇した。相談内容は、高校進学に関する相談が最も多く、そのため、出国・帰国相談に比べて相談者の年齢が高く、中学 2 年生以上で特に 15 歳以上で過年齢の方からの相談が多かった。

1 出国・帰国児童生徒教育相談事例

【教育相談内容】

〈出国相談〉

- 現地の教育事情について
- 現地の生活事情について
- 予防接種について
- 在外教育施設の概況について
- 現地の保育園、幼稚園編入学について
- 現地校の情報について
- 国際学校（インターナショナルスクール）の情報について
- 教科書の入手方法について
- 母語の習得について
- 現地での学習について
- 通信教育について
- 出国の準備および対策について
- 帰国の時期と進学先について

〈帰国相談〉

- 帰国後の編入・進学について
- 帰国子女受け入れ学校、学級について
- 帰国子女枠での高校入試、大学入試について
- 帰国後の学校適応について
- 帰国後の生活適応について
- 帰国後の外国語の保持について
- 帰国後の日本語の回復について

2 外国人児童生徒教育相談事例

【教育相談内容】

- 日本の教育制度に関する相談
- 学校適応に関する相談
- 不登校、いじめに関する相談
- 幼稚園編入学に関する相談
- 小学校編入学に関する相談
- 中学校編入学に関する相談
- 高校進学に関する相談
 - ・高校入試、　・高校編入学、　・高校留学
- 専門学校進学に関する相談
- 大学進学に関する相談
 - ・大学入試、　・大学編入学、　・大学留学

【教育相談事例】

- ・ 学校に提出する書類の書き方を教えてほしい。
- ・ 日本の教育制度について教えてほしい。
- ・ 日本の幼稚園の情報が知りたい。
- ・ 日本語ができなくても編入学できる高校の情報と手続きが知りたい。
- ・ 日本語教室についての情報が知りたい。
- ・ 国際結婚をするので連れ子と呼び寄せたい。来日して、日本の小学校に入学するまでにどんな準備をすれば良いか教えてほしい。
- ・ インターナショナル校は高いので、考えていないが、英語で授業をやっている学校を教えてください。
- ・ 学校に入学しても日本語が分からないときはどうすればよいか。
- ・ いじめの心配もあるので、私立の小学校に通わせたい。そのため、私立の学校の情報が知りたい。
- ・ 子どもが学校でいじめを受けている。どこに相談したらよいか。
- ・ 落ち込んでいる娘をどうしてやったらよいか。困っているので、アドバイスが欲しい。
- ・ 中国人の子どもを受け入れている（または通いやすい）学校を教えてください。学校が決まってから住む場所を決めたい。
- ・ 専門学校に入学するためには、高校卒業資格が必要と書いてあるが他に何か方法はないか。
- ・ 日本で勉強（大学）を続けたいと思ったが、教育機関では12年の課程が必要といわれた。ある学校では、文部科学省の認定を持っていれば大丈夫といわれた。文部科学省の認定とはどんなものか。どうすればその認定を受けられるか。また、他に方法はあるか。
- ・ 今まで20年間日本で生活してきたが、日本語が充分話せない。今からでも日本語の勉強

をしたい。勉強できるところを教えてください。

- ・ 医学部の情報、学費など費用についても知りたい。
- ・ 外国人向けの受験はあるか。健康診断はあるか。
- ・ 日本の学校（高校）に通うための手続き、入学試験の詳細が知りたい。
- ・ フィリピンでの就学状況が分かる書類が届いたら、その書類を持って、愛知県教育委員会に行くようにいわれたが、他に何か持っていくものはあるか。
- ・ 大学受験について、外国人優遇制度があって入りやすい大学があれば教えて欲しい。
- ・ 奨学金制度について教えて欲しい。
- ・ 日本の学校に入る場合、学期の途中で問題はないか。
- ・ 日本での教育について、同じような境遇の子供たちが沢山いると思うが、どのように勉強しているか。
- ・ 日本語がまだほとんどできないので日本語の勉強からのスタートとなるが、どのように勉強したらよいか。
- ・ ペーパー試験、面接も含めて、受験時の日本語が心配であるがどうすればよいか。
- ・ 推薦入試と一般入試の違いが知りたい。
- ・ 会社が桜山なので、近くの名古屋国際高校に電話したが、英語の授業はなく、守山のインターナショナルスクールを紹介された。しかし、学費が二人分となるとかなり高額になり、また桜山からは遠いので、他にないか教えてください。
- ・ できれば日本語の支援をしてくれる学校に行きたいがどこが良いか。
- ・ 日本の学校に進学したいがどうすればよいか。
- ・ フリースクールでいいところがあれば教えてください。
- ・ 日本の学校についていろいろ教えてください。
- ・ 日本語教室についていろいろ教えてください。
- ・ 日本語が書けないが、日本の学校に入りたい。どこに入れるか。
- ・ 日本の中学校で入れる中学校を探しているがどこがいいか。
- ・ 日本の高校に入学させたい。どうしたら入れるか。
- ・ 15歳の娘は今学校に通っていない。どうすれば高校に行けるのか。
- ・ 日本語が全くできないので、どのように日本語の勉強を進めたらいいか教えてください。
- ・ 外国人の多い学校や、外国人の対応に慣れている学校があればその地域で家を探すので教えてください。
- ・ 日本の教育制度についても分からないので教えてください。
- ・ 今後どのような進路選択があるか教えてください。
- ・ 日本の高校に編入学したい。どこか受け入れてもらえるところを教えてください。教育委員会に問い合わせたところ、前例もないし、手続き的にも難しいが各学校の判断にもよると言われた。県教委から高校に編入学する資格はあるとの確認済み。
- ・ 高校入試までの流れと、どのように進路を選択していけばよいのかについて教えてください。
- ・ 転入するのに必要な書類について教えてください。

- ・ 勉強できる環境が整っていて、留学をサポートしてくれる高校はないか。
- ・ 呼び寄せに伴う子どもたちの教育について相談したい。
- ・ 日本語が分からないまま日本の中学校に入学してついていけるか。
- ・ 日本で1年間、日本語学校に通って日本語能力のN2かN3を取得したのち、国立高等専門学校に進学したいが、はいれる資格があるか。
- ・ 死んだ兄の娘の学校入学問題について相談したい。
- ・ 中国から呼び寄せた16才の妻の子どもたちの進路について相談したい。
- ・ 中国から呼び寄せたいと思っている、姉の息子の学校入学について相談したい。
- ・ 中国から呼び寄せたいと思っている娘の日本語の勉強と、学校入学について相談したい。
- ・ 子どもたちの日本での教育について相談したい。
- ・ 18才の長男の高校進学について相談したい。
- ・ 3月にニュートン学園を卒業する息子は言語障害があり、日本語、アラビア語、英語のどれもうまく話せない。日本語教育を受けられるところと進路についての相談がしたい。
- ・ 高校入試の際に提出する書類について教えてほしい。
- ・ 高校（できればお金のかからない昼間部）に入学したいので相談にのってほしい
- ・ 今後の進路の可能性について相談したい。
- ・ 子どもたちの進学について相談したい。
- ・ 今から入学して勉強できる学校を教えてほしい。
- ・ 息子の中学校転入学と高校進学について相談したい。
- ・ 定時制課程から全日制課程にかわるためにはどうしたらよいか。
- ・ 高校進学と進学後の日本語学習について教えてほしい。
- ・ 中央高校の夜間定時制課程から、もう少し通いやすい、家の近くの高校にかわるにはどうすればよいか。
- ・ 小学校生活及び日本語学習について教えてほしい。
- ・ 公立高校の受検先をどこにしたらいいか相談したい。
- ・ 中学校入学と高校進学問題について相談したい。
- ・ 中国から呼び寄せる14才になる妻の娘の教育について相談したい。

海外児童生徒・外国人児童生徒教育相談に対する対応事例（高等学校編入について）

- ・日本の教育制度
- ・幼稚園、小学校、中学校への入学、編入学
- ・日本の学校への適応
- ・高校進学、編入学
- ・高校入試について
- ・大学進学、専門学校進学
- ・大学入試について
- ・日本語の学習
- ・学校でのいじめ問題
- ・不登校
- ・夜間中学



- ・ 文部科学省作成「就学ガイドブック」
日本の学校への入学手続き紹介
- ・ 愛知県教育委員会作成「外国につながる子どもたちの進路開拓ガイドブック」紹介
- ・ 名古屋市教育研究協議会「進路の手引」
- ・ 愛知県・名古屋市教育委員会の紹介
- ・ 愛知県公立高校入試の概要の説明
- ・ 全日制・定時制・通信制課程の説明
- ・ 進路ガイダンスの紹介
- ・ 名古屋市教育委員会の施策の紹介
『初期日本語集中教室』
- ・ 日本語教室の紹介
- ・ スクールカウンセラーの紹介
- ・ 教育相談窓口の紹介

高校編入（公立）について

海外帰国生徒の編入学については、保護者の転勤というやむを得ない事情によるものが多いことから、その受け入れを促進すべきであるとの観点で昭和63年度に学校教育法施行規則の一部改正が行われ、第1学年の途中も含めて、学年を通じ、随時、編入学を行うことができるようになった。これを受けて、愛知県公立高等学校においては、平成元年度から海外帰国生徒の編入学を実施している。

その主な内容は以下のとおりである。

なお、海外からの一家転住による外国人生徒の編入学の取扱いは、海外帰国生徒の編入学に準じて行われる。

1 出願資格

- (1) 相当年齢に達し、当該学年に在学する者と同等以上の学力があると認められる者。
- (2) 日本の中学校を卒業しているか、又は外国における正規の教育機関の9年目以上の課程を修了していること。
- (3) 原則として、継続して1年以上海外に在住していたこと。
- (4) (3)の在住期間中、外国における正規の教育機関で学んでいたこと。
- (5) 帰国後1年以内であること。
- (6) 保護者もしくは保護者に代わる身元引受人とともに愛知県内に在住していること。

2 編入学を認める時期

各学年において、4月1日から翌年1月8日までの期間です。

3 編入学考査

志願のあった学校で随時実施します。編入学考査の科目等については、各学校が定めます。

4 出願に要する書類等

- (1) 継続して1年以上海外に在住していたことを証明する書類（適宜の書式。保護者の所属長等の証明書又はこれに代わるもので、在住期間を示したもの等。）
- (2) 海外の学校が発行する成績・単位修得証明書又はそれに準じるもの
- (3) 本人及び保護者が海外に在住したまま出願する場合は、帰国に関する申立書
- (4) 本人のみ帰国する場合は、保護者に代わる者の身元引受承諾書
- (5) 高等学校教育課が発行する編入学出願届受理証明書
- (6) 編入学願

出典：愛知県（2013年8月22日）<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kotogakko/0000027288.html> より引用

手順は 編入希望の保護者が希望高校の教頭先生に編入の問い合わせをする

- 編入が可能な場合には「教育委員会で確認してもらってください」と言われる
- 保護者が外国の高校の最終成績証明書をもって愛知県教育委員会高等学校教育課へ
- 高等学校教育課(西庁舎9F)で書類を審査(1週間ほど時間がかかる場合もある)
- 書類が適切であれば愛知県教育委員会高等学校教育課は「編入学出願受理証明書」を発行
- (条件：外国の正規の教育9年終了している、日本に来て年以内、保護者と県内に住む、日本語が話せ、読め、書けること)
- 保護者が「受理証明書」をもって希望高校に出かけ、願書とともに提出する

Ⅲ 平成30年度 海外児童生徒教育相談実績（統計）

（1）相談件数

ア 月別相談件数

（単位：件）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出 国	来室	1	0	7	3	2	6	5	6	4	0	0	3	37
	問合せ	1	0	0	0	1	2	5	2	2	0	0		13
	小計	2	0	7	3	3	8	10	8	6	0	0	3	50
帰 国	来室	5	2	8	10	6	6	5	7	4	1	2	3	59
	問合せ	5	5	0	0	1	5	0	4	1	0	4	1	26
	小計	10	7	8	10	7	11	5	11	5	1	6	4	85
外国人 児童生徒	来室	4	3	8	13	17	10	9	6	5	17	19	7	118
	問合せ	5	2	1	1	4	4	1	1	0	3	2	3	27
	小計	9	5	9	14	21	14	10	7	5	20	21	10	145
その他	来室	5	0	5	0	5	2	4	1	2	3	2	1	30
	問合せ	6	5	2	6	5	0	8	4	4	2	4		46
	小計	11	5	7	6	10	2	12	5	6	5	6	1	76
30年度合計		32	17	31	33	41	35	37	31	22	26	33	18	356
29年度合計		26	30	46	34	38	37	50	48	36	53	27	38	463
28年度合計		17	28	47	31	33	28	40	28	24	25	48	45	394
27年度合計		14	15	25	20	12	22	20	32	11	20	18	8	217

◎「問合せ」とは、予約相談を伴わない、電話・メール・カウンターにおける問合せをい

「外国人児童生徒」には、国際結婚に関わる児童生徒の教育相談を含む。

「その他」とは、保護者ではなく、企業・教育機関等からの問い合わせをさす。

イ 相談者の居住地域

（単位：件）

	出国 相談	帰国 相談	外国人 児童生 徒
名古屋市内	23	41	93
愛知県	25	30	31
三重県			1
岐阜県	1	2	2
その他	1	10	18
一時帰国	/	2	/
合 計	50	85	145

その他 …不明1(外国人児童生徒)

ウ 学校・学年別相談件数

（単位：件）

学校種別 学年	幼 稚 園	小 学 校						中 学 校			高 等 学 校			大 学	そ の 他	合 計
		一 年	二 年	三 年	四 年	五 年	六 年	一 年	二 年	三 年	一 年	二 年	三 年			
出国相談	11	3	5		5	1	6	2		2	4	1			10	50
帰国相談	13	6	9	3	7	4	10	8	1	9	7	1		1	6	85
外国人児童生徒	12	7	6	5	8	6	6	4	20	30	12	9	11	2	7	145
合 計	36	16	20	8	20	11	22	14	21	41	23	11	11	3	23	280

(2) 出国・帰国教育相談

ア 在留期間別相談件数

(単位:件)

	出国相談	帰国相談
1年未満		
1年～2年未満	2	2
2年～3年未満	7	8
3年～4年未満	21	22
4年～5年未満	9	16
5年以上	8	33
未定	3	4
合計	50	85

イ 在留地別相談件数

(単位:件)

	出国相談	帰国相談
アジア	23	34
北アメリカ	14	23
中南米地域	2	7
ヨーロッパ	10	15
アフリカ		
大洋州	1	6
中東		
合計	50	85

ウ 在留国での学校種別相談件数

(単位:件)

	出国相談	帰国相談
日本人学校	10	14
現地校と補習授業校	14	20
現地校	1	24
国際学校	11	14
幼稚園	9	9
その他・未就学	5	4
合計	50	85

(3) 外国人児童生徒教育相談

国籍別相談件数

(単位:件)

国籍	件数	国籍	件数	国籍	件数	国籍	件数
中国	45	ブラジル	12	ブルンジ		インド	2
フィリピン	7	スリランカ	5	インドネシア	2	アフガニスタン	3
タイ	3	エクアドル	1	コロンビア	1	ヨルダン	2
台湾	1	パキスタン	4	韓国	10	アメリカ	7
ペルー	11	ネパール	6	カナダ	1	ウガンダ	3
ベトナム	2	イラン	2	トルコ	2	ボリビア	3
オーストラリア	6	モンゴル	2			不明	2

合計 145

(4) 海外児童生徒教育相談窓口アンケート 集計結果

集計枚数 102枚 (うち外国人65枚・日本人37枚)

ア. この相談窓口を何で知りましたか？

知った場所	外国人	日本人
NIC情報カウンター	7	3
ナゴヤカレンダー	2	
NICホームページ	15	16
NICメールマガジン		
学校	11	1
区役所・市役所	9	3
教育委員会	1	1
会社		8
知人	11	1
NIC日本語教室	1	
日本語教室	1	
RHQ	2	
進路ガイダンス	1	
海外子女教育振興財団		1
ハートフレンドなごや		1
教育相談員		2
その他	4	
計	65	37

イ. 相談は役に立ちましたか？

《外国人》 満足度 100 %

- 理由 (自由記述)
- ・相談者の立場に立っていろいろアドバイスいただいた。
 - ・たくさんの情報を入手できた。
 - ・広い分野に渡って、ほんとうにうれしいです。
 - ・子どもの学校の進路 / 生活について。
 - ・進路に関してとっても助かりました。
 - ・実際行っている現状を教えていただきました。

《日本人》 満足度 100 %

- 理由 (自由記述)
- ・名古屋市内の小学校について
 - ・現地のイメージがわいた
 - ・様々なパンフレットをいただきながら説明してくれてわかりやすかったです。
 - ・理解のある先生とお話しできて、少し方向性が見えた。
 - ・どんな進路先があるか、どうしていったらよいのかよくわかりました。
 - ・市での活動について詳しく知ることができたため。
 - ・細かく相談に乗って頂き、役に立ちました。
 - ・帯同での子女教育に対する良い面と厳しい面の両面でのアドバイスを頂けた。
 - ・帰国までの受検等に関するイメージをもつことができた。

ウ. 相談員について

《外国人》 満足度 100 %

- 理由 (自由記述)
- ・わかりやすく説明していただきました。
 - ・とてもわかりやすく説明してくださいました。
 - ・わかりやすい説明でありありがとうございました。
 - ・ことばの中には、理解するのが難しいものもあった。

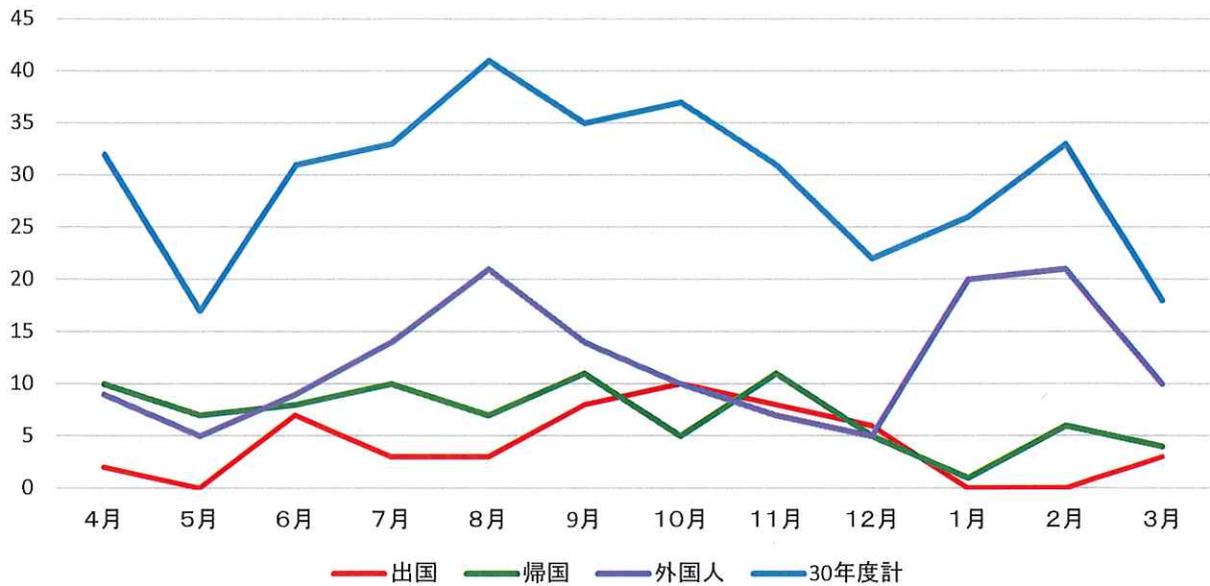
- 《日本人》 満足度 100 %
理由
(自由記述)
- ・親切に教えていただいた。
 - ・不安がだいぶなくなり良かったです。
 - ・たくさんの情報を丁寧に教えてくださったため。
 - ・具体的に対応していただきました。資料など取り寄せて頂いてありがとうございます。
 - ・ことこまかく説明して頂き、楽しかったです。とてもためになりました。
 - ・帯同での子女教育に対する良い面と厳しい面の両面でのアドバイスを頂いた + とても相談させて頂けた。
 - ・わかりやすく理解できました。
 - ・とても話しやすかったです。

エ. 教育相談の窓口について、ご意見、ご要望などがあればご記入ください。

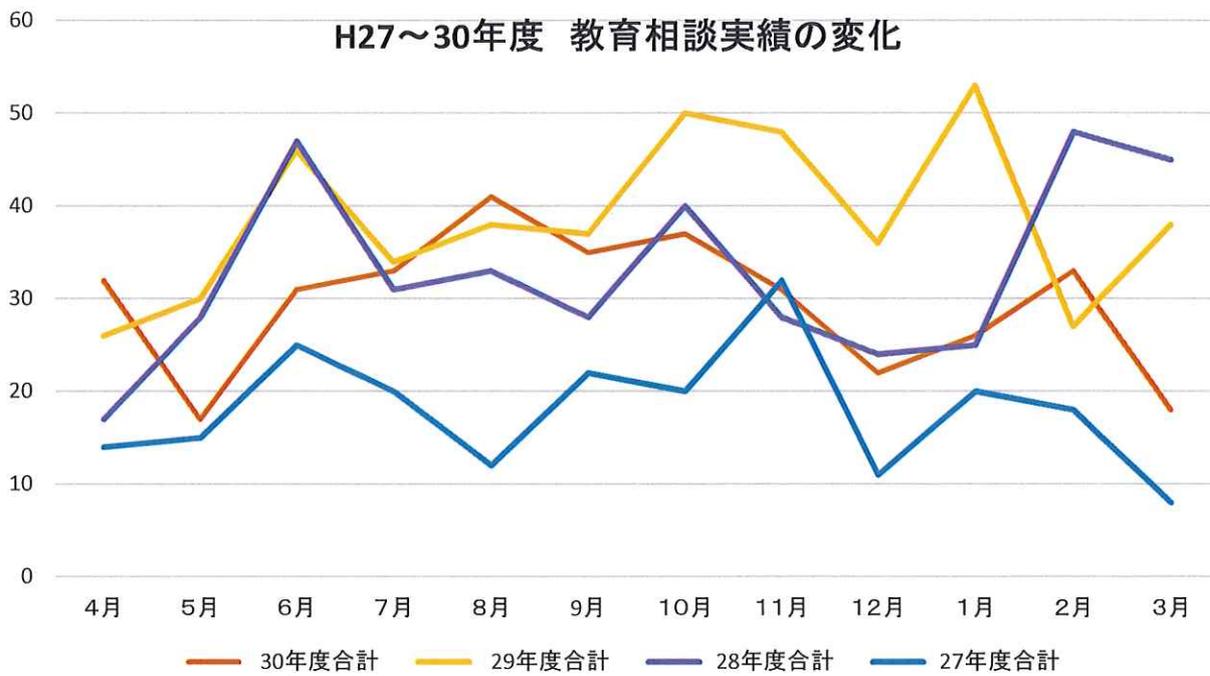
- 《外国人》
(自由記述)
- ・とても有益な情報を得ることができました。
 - ・ありがとうございました。
 - ・細部にわたって、ほんとうに参考になりました。整理してまたご連絡申し上げます。
 - ・入学実績のデータがとれたらいいと思います。
 - ・NIC Education System has good work for foreigner, Please keep it up.
 - ・OK
 - ・ちょっと先が見えました。
 - ・話し合っただけでまた相談に来ます。
 - ・たいへんよかったですのでほかにようぼうはありません。

- 《日本人》
(自由記述)
- ・非常に役に立ちました。
 - ・詳しく説明していただき、不安な部分がなくなりました。
 - ・相談があればまた宜しくお願い致します。
 - ・名古屋では相談口がないのもっと増加してほしい。
 - ・ドイツインターナショナルスクール相談後、再相談させてください。
 - ・Good
 - ・資料もたくさんいただいて、大変ためになりました。

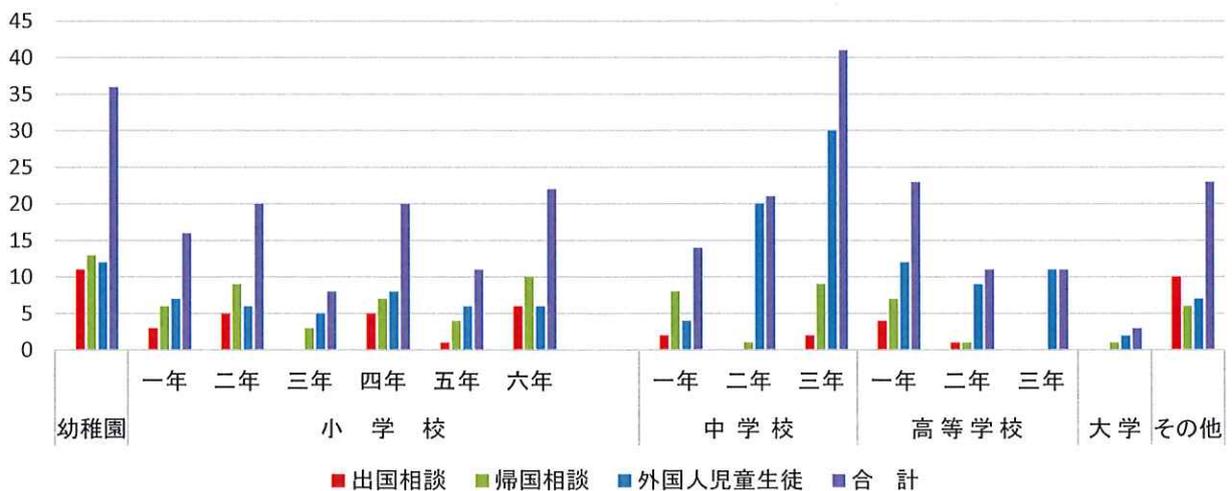
H30年度 教育相談実績



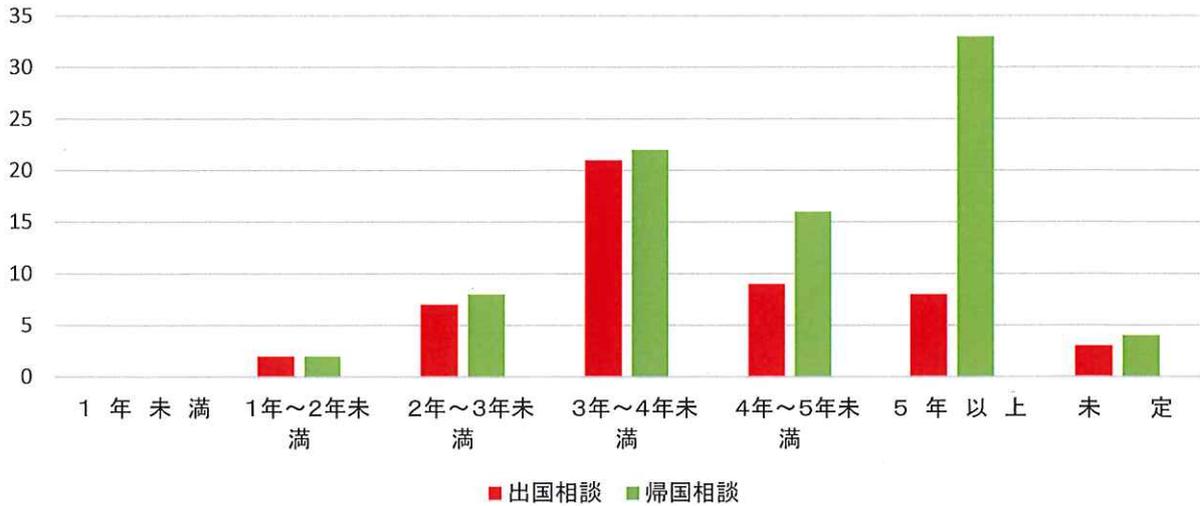
H27~30年度 教育相談実績の変化



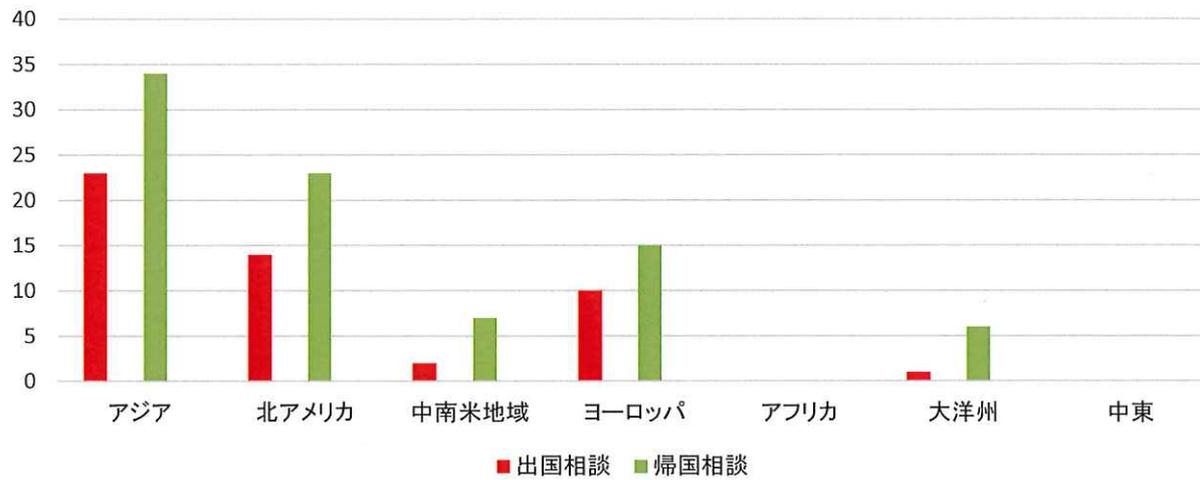
H30年度 学校・学年別相談件数



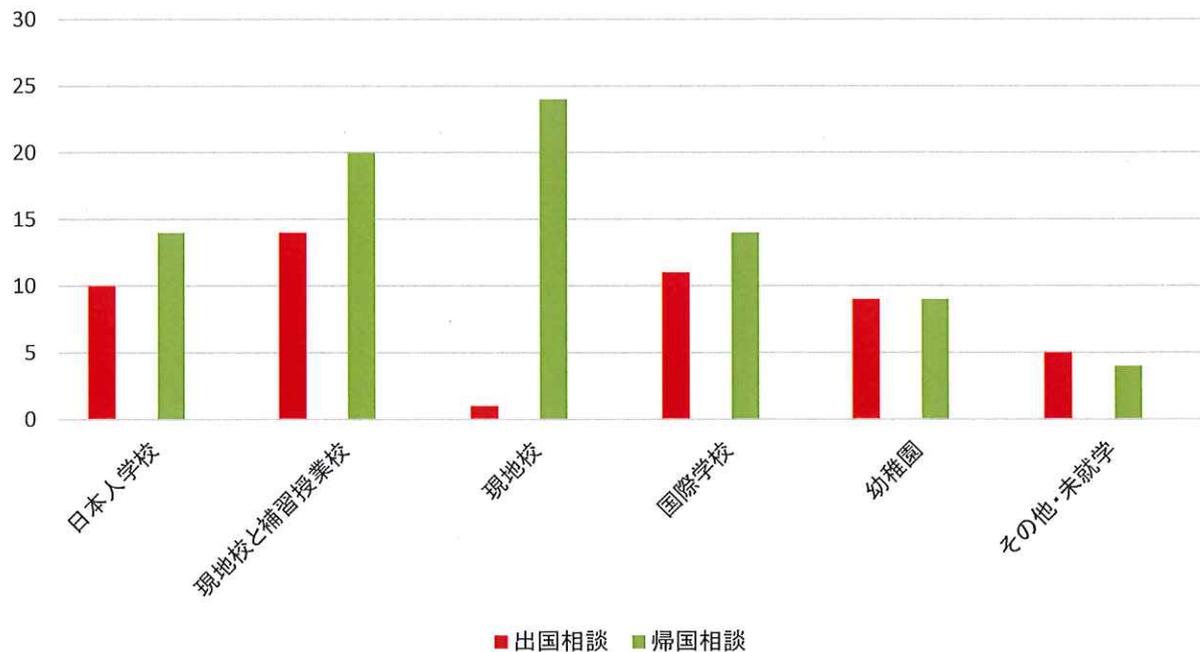
H30年度 出国・帰国教育相談 在留期間別相談件数



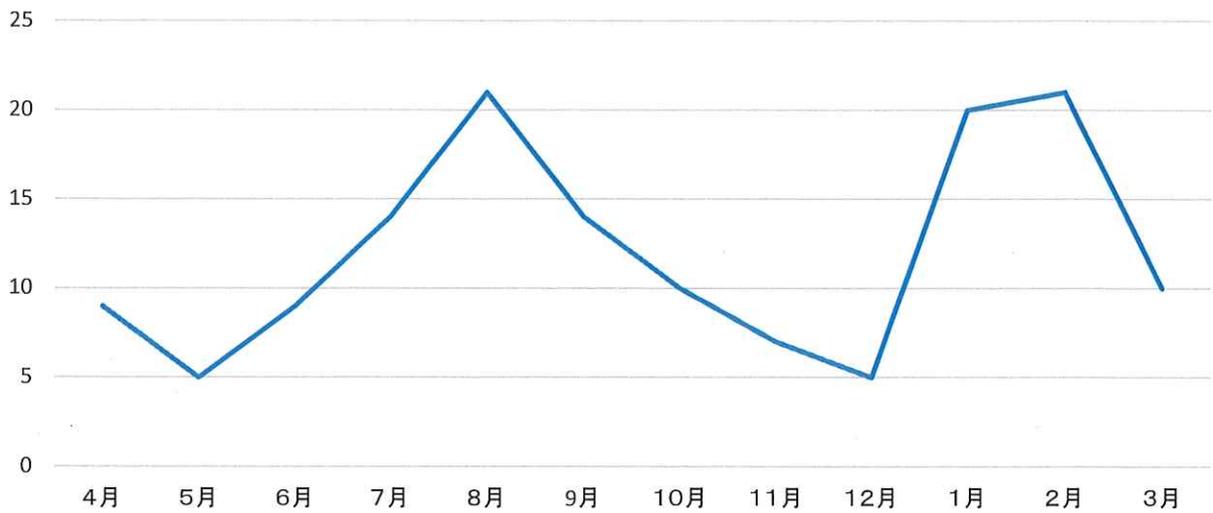
H30年度 出国・帰国教育相談 在留地別相談件数



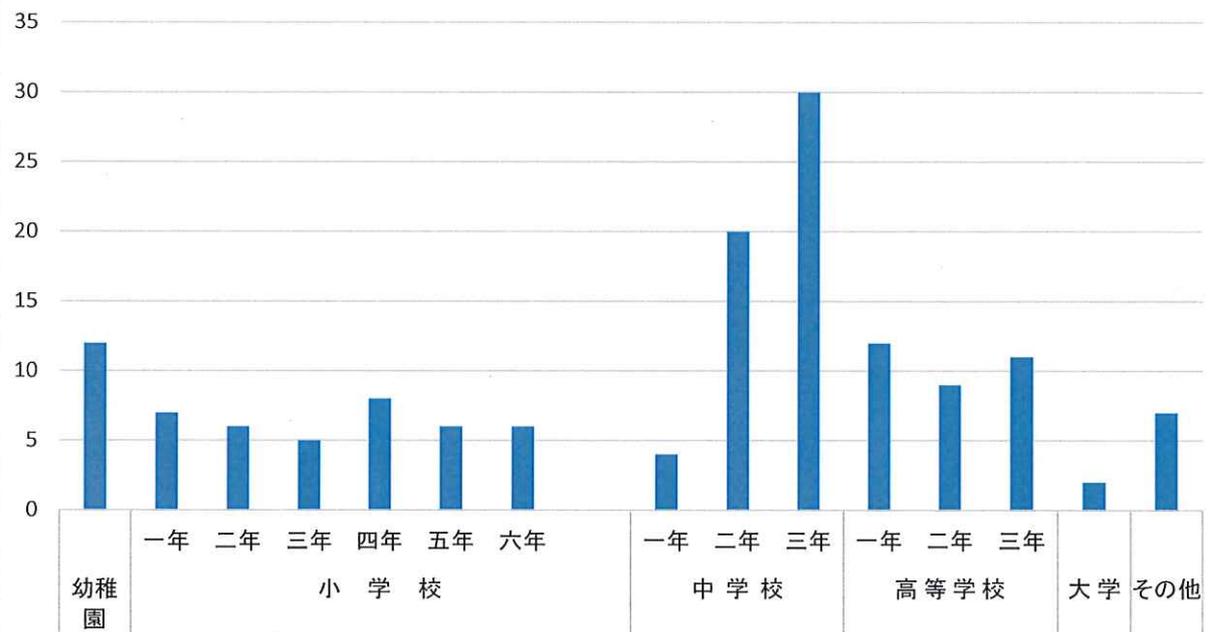
H30年度 在留国での学校種別相談件数



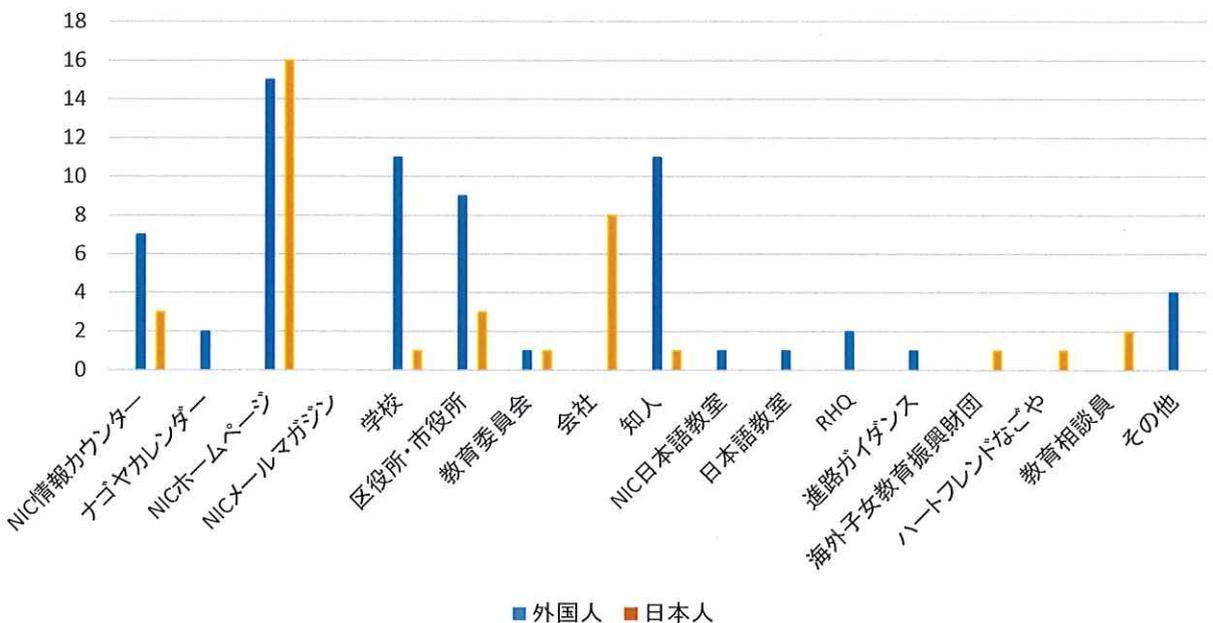
H30年度 外国人児童生徒教育相談実績



H30年度 外国人児童生徒相談 学校・学年別相談件数



相談窓口を知った場所



IV H23年度からの外国人児童生徒教育相談実績の推移（統計）

(1) 国籍別外国人相談件数の推移

(単位:件)

国 籍	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
中 国	42	24	33	28	23	39	32	45
フィリピン	7	9	20	14	8	27	35	7
ネパール	2	3	9		2	5	12	6
ベトナム	1		2	1	4	7	4	2
タ イ			1	1			2	3
韓 国		3		5				10
台 湾	1	1		1			4	1
インドネシア	1	1			3	1	8	2
インド		1		1		1		2
アフガニスタン	1							3
スリランカ	1			6	1	4	2	5
シンガポール				2	3			
パキスタン				2		1	5	4
ミャンマー				2	1			
モンゴル								2
イラン				2			1	2
エジプト						1		
ヨルダン								2
ウズベキスタン				2				
ロシア	1		5					
イギリス		6	2					
アイルランド						1		
ドイツ			1		1			
スペイン		1						
ルーマニア						1		
トルコ						3		2
アルメニア					1			
アメリカ			5	10		7		7
カナダ	1							1
ジャマイカ						1		
オーストラリア			1					6
ニュージーランド				2	2			
ブラジル	13	16	23	9	3	11	22	12
ペルー	16	8	6	7	4	11	7	11
コロンビア		1		1			2	1
ベネズエラ							2	
エクアドル								1
ボリビア	4		1	2	2			3
メキシコ				2				
モロッコ			1					
ブルンジ		1				2	1	
ガーナ						3		
タンザニア	2							
ナイジェリア				2				
ウガンダ								3
不明						1		2
合 計	93	75	110	102	58	127	139	145

内、日本国籍
との2重国籍3
を含む

(2) 内容別相談件数の推移

(単位:件)

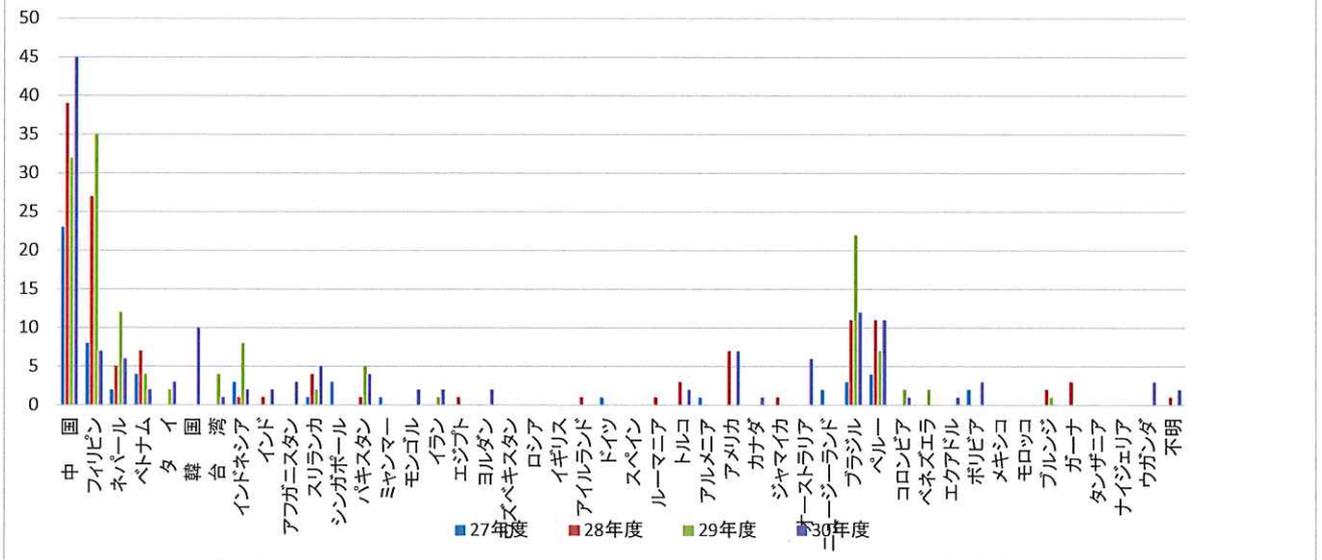
内 容	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
出国	115	80	82	50	62	86	71	50
帰国	27	56	55	38	54	113	149	85
外国籍児童生徒	95	75	110	102	58	127	139	145
その他	44	71	51	62	43	68	104	76
合 計	281	282	298	252	217	394	463	356

(注) 「その他」は、上記3項目以外の日本国籍の児童生徒及び第三者(例: 会社人事担当者・学校教諭等)からの相談

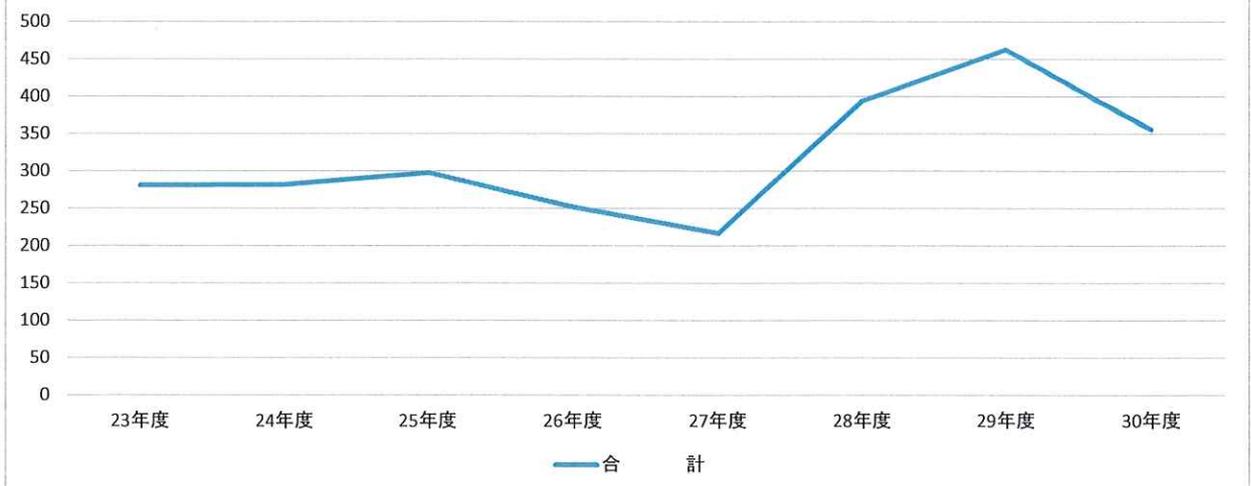
外国人児童生徒教育相談件数の推移



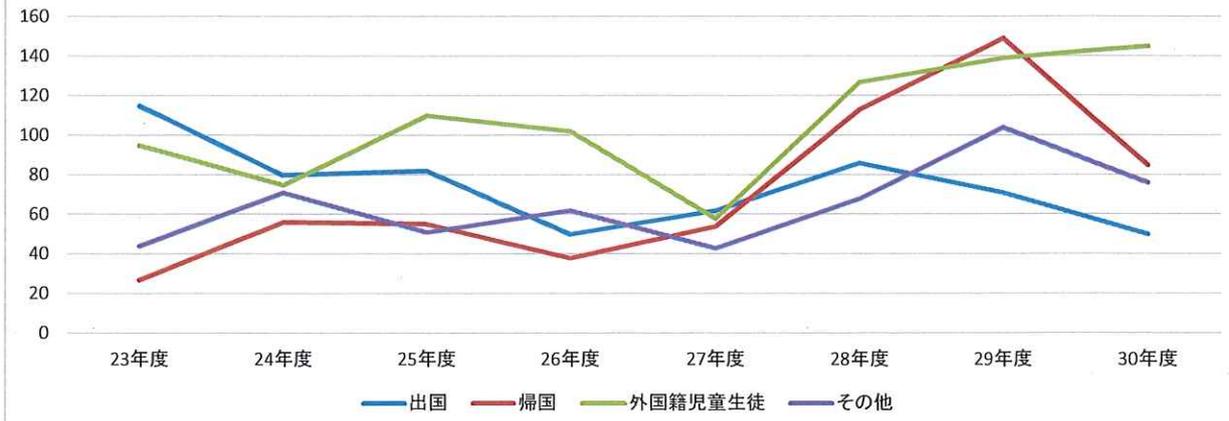
国籍別相談件数



教育相談件数の推移



内容別相談件数の推移



V H23年度からの外国人児童生徒教育相談者学校学年別の推移（統計）

外国人児童生徒の学校・学年別相談件数

（単位：件）

学校種別 学年 区分	幼稚園	小学校						中学校			高等学校			大学	その他	合計
		一年	二年	三年	四年	五年	六年	一年	二年	三年	一年	二年	三年			
H23年度	5	4	0	3	3	2	3	6	6	18	3	13	3	2	24	95
H24年度	5	1	4	4	5	2	6	1	5	14	1	1	3	3	20	75
H25年度	7	3	3	3	4	4	1	7	4	17	4	5	5	3	40	110
H26年度	2	3	2	7	3	4	3	4	5	17	1	8	2	2	39	102
H27年度	0	2	2	0	1	1	1	4	5	10	5	4	1	3	19	58
H28年度	5	1	3	4	6	6	4	8	11	24	25	14	8	2	6	127
H29年度	3	3	2	8	2	6	6	8	12	40	22	9	8	3	7	139
H30年度	12	7	6	5	8	6	6	4	20	30	12	9	11	2	7	145
合計	39	24	22	34	32	31	30	42	68	170	73	63	41	20	162	851

外国人児童生徒教育相談の学校・学年別相談件数の推移

